

国道354号岩井バイパス全線開通

8月12日、国道354号岩井バイパスの上出島地内(旧岩井西高)から馬立地内(旧土浦坂東線)までの区間3.6kmが完成し、開通式が開催されました。

開通式には橋本知事や吉原市長のほか多くの関係者が出席、岩井中学校吹奏楽部の素敵な演奏のなか、交通安全祈願やテープカット、通り初めが行われました。

国道354号線は群馬県高崎市を起点とし、県南西部を



▲完成を祝いテープカットが行われました



▲今回開通した国道354号岩井バイパス

経て鉢田市に至る道路で、今回開通した岩井バイパスは、平成17年度に事業着手、平成25年7月には、合併支援事業による市整備区間1.3kmが供用開始されていきました。

国道354号岩井バイパスが全線開通したことにより、通勤・通学や市民生活の向上に寄与することはもちろん、来年開通が見込まれる圏央道坂東ICへのアクセス道路として期待されます。

ばんごう まちづくり

坂東市長 吉原英一



病気の重症化を予防し 健康シテイ坂東を めざします

先日、国の平均寿命が発表されました。その年に生まれた赤ちゃんが何歳まで生きられるかを示したもので、年間の死亡状況が今後変わらなると仮定し、平均余命や死亡率などの指標を使い表したものです。今回の平均寿命は、男性80・5歳、女性86・8歳です。

ただし、平均寿命で亡くなっているということではありません。80歳の男性は平均的にはさらに8.8年、女

性は平均的には11・7年生き続けられる試算もあります。また、90歳まで生存するかの割合が男性24・2%、女性48・3%との推計もあります。

このように、平均寿命が毎年延び高齢化が進んでいます。なお、坂東市は平均寿命でほぼ県平均となっています。

そして今、平均寿命が延びるとともに、健康寿命をも延ばしていくことが大切となっています。年齢を重ねながらも健康を維持するために、毎日の生活や運動に気をつけ、定期的に健康診査を受けていただくことが大切です。

市では、健康寿命を延ばせるよう、胃がん健診や特定健診を毎年実施しています。特定健診は国保加入者を対象に、主にメタボリックシンドロームを予防しようとして実施しています。そしてその結果が黄色や赤信号であった時には健康相談を

受けてください。早期発見早期治療で重症化する一歩手前で病を食い止めましょう。

また、本年度は、20代30代で国保に加入されているかた約2800人を対象に、自宅にいなから脂質代謝、肝機能、腎機能など14項目が検査できる「スマホドック」をKDDI株の協力のもと県内で唯一実証事業を実施しています。

検査は、自宅で簡易な検査キットで指先から採血し、検査センターに郵送します。数日後には、検査結果をスマホでチェックすることができます。また結果によっては病院案内もチェックできます。

高齢でありながらも元気で、日常生活を人の介護にたよらないで送り、健康寿命を延ばせるよう生活に関心をもって、適度な運動を心がけ、一年に一度健診を受けていただきますようお願いいたします。